

3. 施策の実施とモニタリング指標の 状況(速報)



① 渋滞の緩和 — 施策1: 渋滞対策に資する効果的な広報の実施 —

(1) 取り組み概要〔1/3〕（奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋）

- 鉄道駅・高速SA/PAなどにおけるチラシの留め置き・ポスターの掲示
 - ⇒ これまでの広報事業を参考にして、効果が高いことが確認された鉄道駅や高速SA/PAにおいて、チラシ・ポスターによる広報を実施します。

(2) 施策の実施状況〔1/3〕

- チラシ・ポスターの作成
 - ⇒ 季節ごとに公共交通や、P&Rの利用促進
チラシとポスターを毎年度作成
 - ⇒ 秋期のぐるっとバスチラシは、モデルコースを追加

表 各チラシとポスターの作成状況

広報媒体		作成時期
公共交通 利用促進	チラシ	各季(年4回)
	ポスター	
P&R 利用促進	チラシ	春期・秋期(年2回)
	ポスター	



モデルコース追加



- 留め置き・掲示
 - ⇒ 鉄道駅やSA/PA等各所にチラシの留め置きとポスターの掲示を実施
 - ⇒ 留め置き・掲示はシーズン毎に実施

図 ぐるっとバスチラシ（上：平成31年春期、下：令和元年秋期）

① 渋滞の緩和 — 施策1: 渋滞対策に資する効果的な広報の実施 —

(1) 取り組み概要〔2/3〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○ホームページの充実

- ⇒ 奈良中心市街地における観光目的利用者を対象に、魅力的な観光情報を紹介するためのポータルサイト「アクセスナビ」の情報充実化を図ります。
- ⇒ 観光案内に加え、ぐるっとバスやP&R駐車場などを分かりやすく示すことで、公共交通の利用促進を図ります。

(2) 施策の実施状況〔2/3〕

○ポータルサイト「アクセスナビ」の情報充実化

- ⇒ 奈良観光シーズンにおける自動車の時間帯別渋滞状況や、公共交通を利用した観光ルート等の情報も掲載

○ホームページにより公共交通やP&R駐車場などを分かりやすく示す

- ⇒ ぐるっとバスやP&R施策、木簡型一日乗車券に関する実施状況について、情報を季節ごとに更新
- ・ 平成30年秋期よりTwitterを開設しP&R駐車場等の情報を発信



▲キャンペーンの案内



▲混雑情報の提供



令和元年秋期アクセスナビ

(1) 取り組み概要〔3/3〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○P&Rの利用促進に資するラジオ・道路情報板などでの情報提供

⇒ 自動車来訪者に対して、奈良中心市街地で公共交通を利用して観光してもらうためにP&Rを推進します。

⇒ P&R駐車場に関して自動車運転中でも情報を取得可能な、ラジオや道路情報板、案内看板や横断幕の設置を行います。

(2) 施策の実施状況〔3/3〕

○ラジオでのP&Rの情報提供

⇒ 「ならどっとFM」でP&R利用に関する案内を放送

放送文（抜粋）：奈良市役所、国道24号高架下駐車場にて無料で開設している観光無料駐車場のご利用をお願いします。

※JARTICでも同様の内容を放送

○道路情報板や案内看板等を用いて道中でP&R情報を提供

⇒大宮通り・国道169号を中心に案内看板や横断幕を設置

⇒案内看板の表示を「無料駐車場」から

「奈良公園 観光無料駐車場」に変更したものを設置

⇒案内看板は駐車場の情報のみ表示していたが、レンタサイクル・ぐるっとバスの案内を追加したものを設置

⇒案内看板設置期間を奈良市役所駐車場開設期間にあわせ、前倒しにて設置

(平成30年：10月～11月 → 令和元年：9月～11月)



看板設置状況
(左：駐車場、右：無料レンタサイクル)

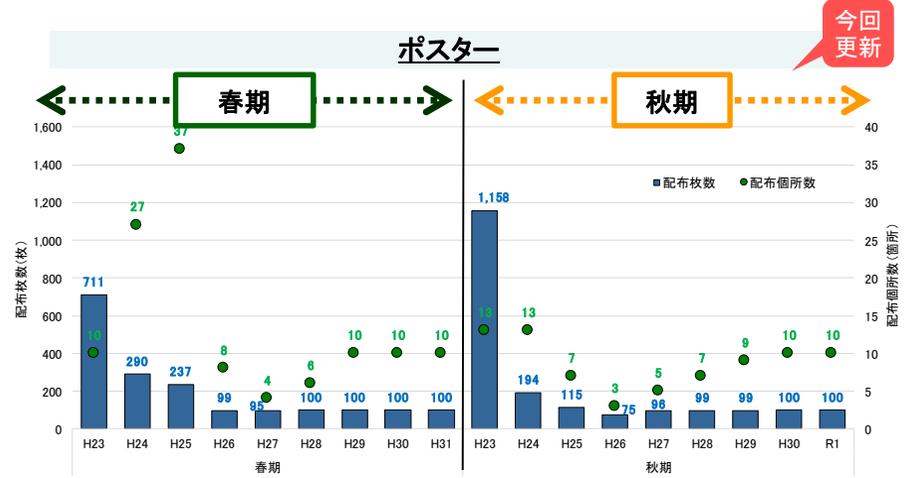
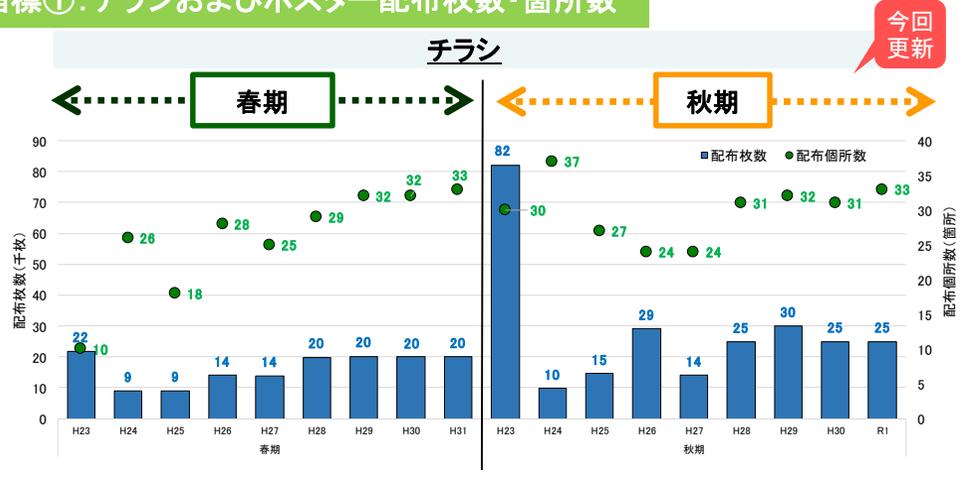
道路情報板を活用した
情報提供

① 渋滞の緩和 — 施策1: 渋滞対策に資する効果的な広報の実施 —

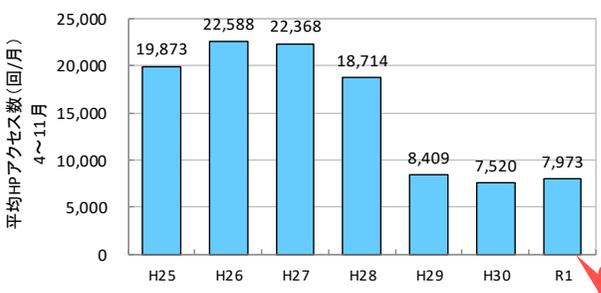
(3) モニタリング指標の状況

- 令和元年秋期のチラシ・ポスターの配布数は平成30年秋期と同等。
- HP平均アクセス数は平成30年とほぼ同等。
- ラジオの放送回数は平成30年とほぼ同等。
- 令和元年秋期の公共交通分担率は平成30年とほぼ同等。

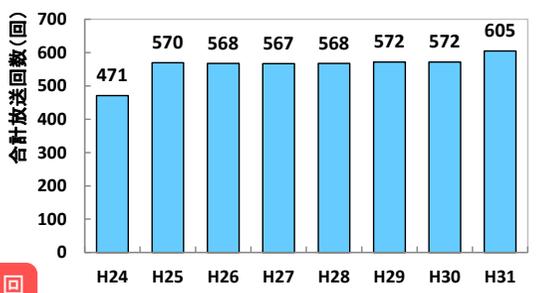
指標①: チラシおよびポスター配布枚数・箇所数



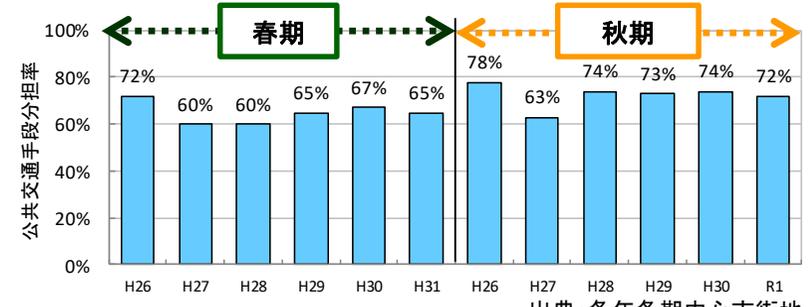
指標②: HPアクセス数



指標③: ラジオ放送回数



参考: 公共交通手段分担率



※R1は2019年1月1日～11月30日までの数値

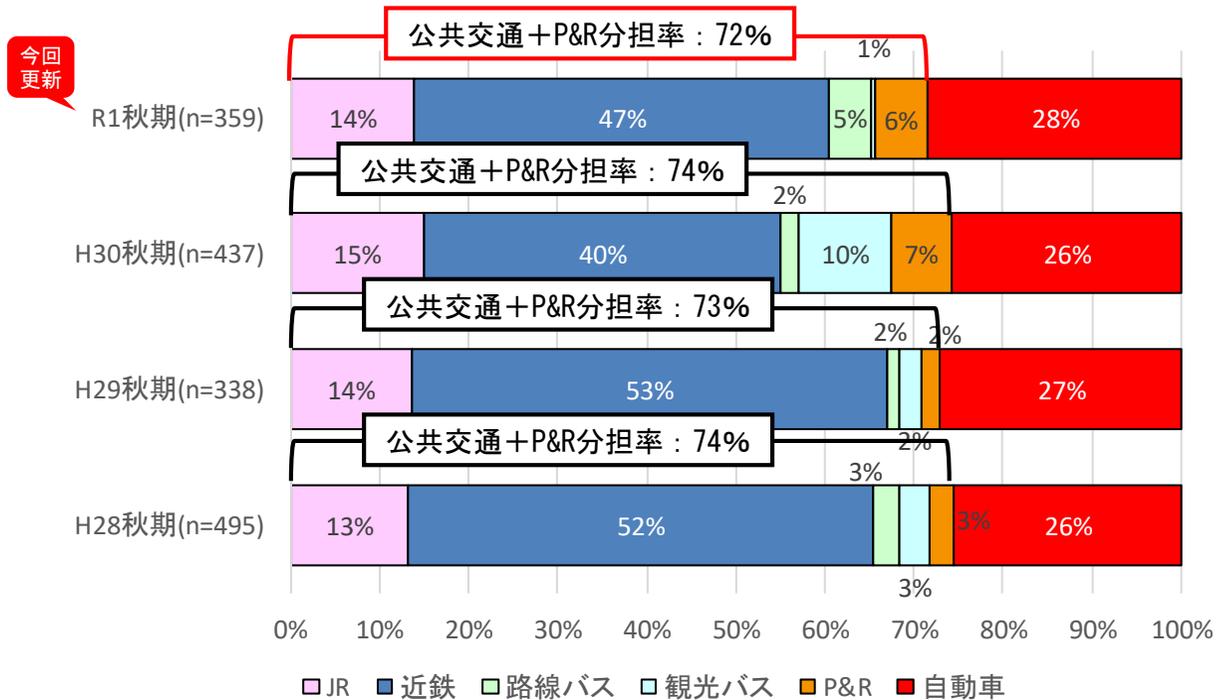
出典: 各年各期中心市街地来訪者アンケート調査

① 渋滞の緩和 — 施策1: 渋滞対策に資する効果的な広報の実施 —

交通手段分担率について

- 令和元年秋期の奈良中心市街地への公共交通とP&Rの分担率は、平成30年秋期と同程度。
- 近鉄の利用割合は平成30秋期に比べ増加。

来訪交通手段分担率



出典: 各年来訪者アンケート調査



①渋滞の緩和 — 施策2:パーク&ライドの実施 —

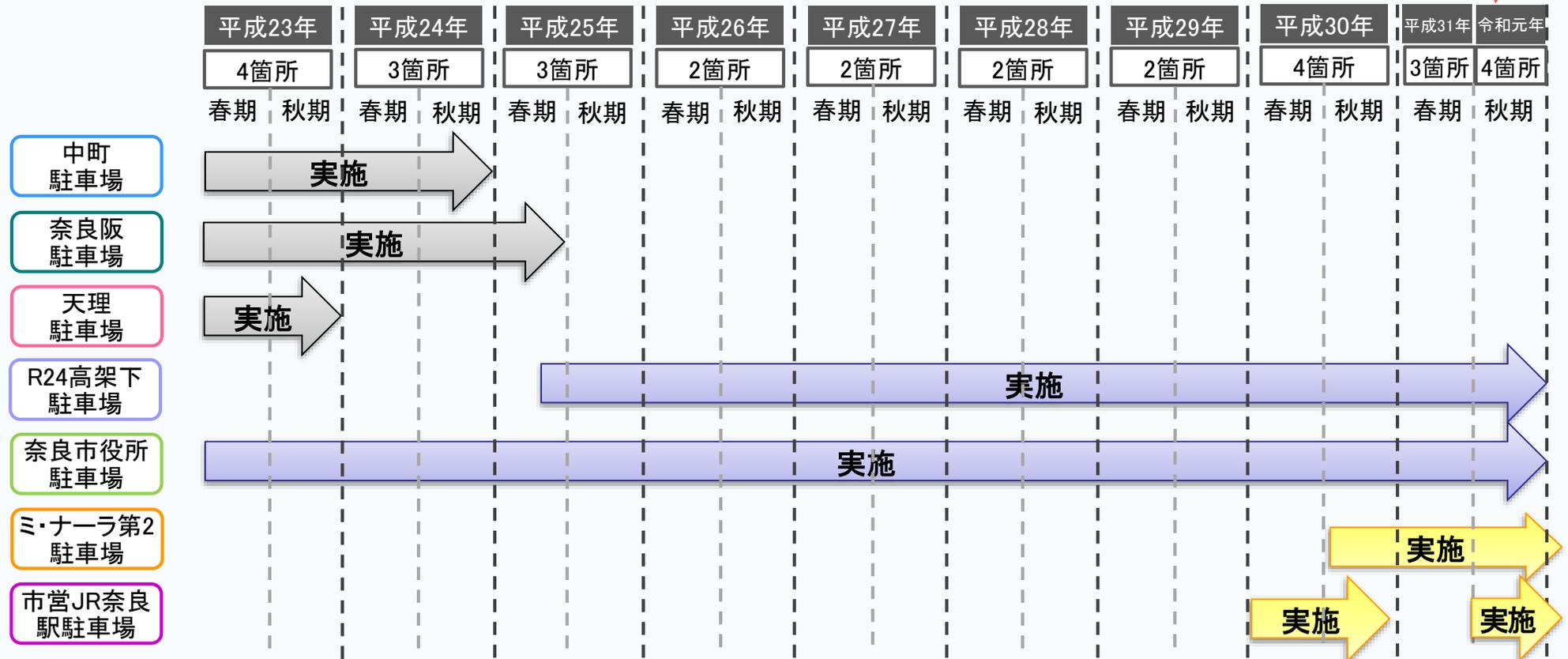
(1) 取り組み概要（奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋）

- 「国道24号高架下駐車場」と「奈良市役所駐車場」などでP&R（パーク&ライド）を実施し、ぐるっとバスなどで観光周遊を促進し、奈良中心市街地の交通渋滞を抑制します。

(2) 施策の実施状況

- 春期・秋期にぐるっとバスと連携したP&Rを実施
⇒ 利用状況を踏まえ、各期でP&R実施箇所等を見直し

今回更新



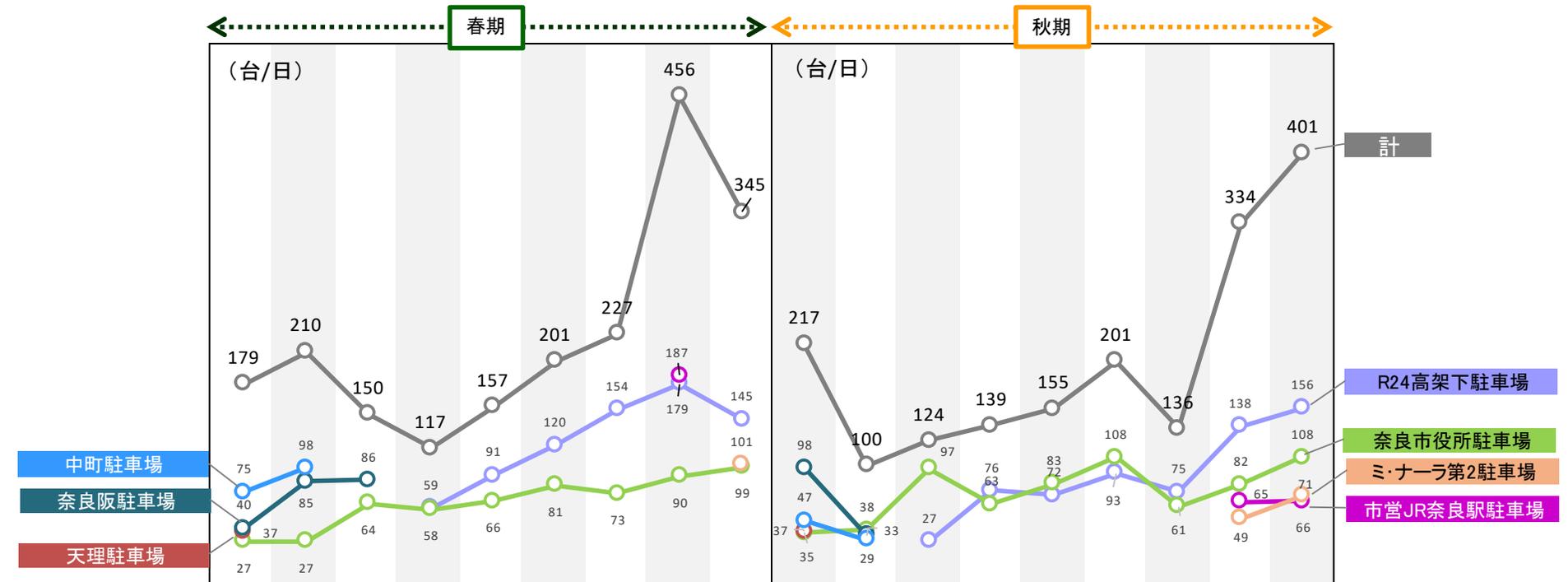
①渋滞の緩和 ー施策2:パーク&ライドの実施ー

(3) モニタリング指標の状況

○令和元年秋期のP&R駐車場利用台数はどの駐車場も平成30年秋期と比べて増加。

指標①:P&R駐車場利用台数

※実施期間中の日平均利用台数
 ※H29は、台風接近による悪天候の複数日(9/16,17,10/21,22,28,29)含む



開設日数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	(日)
R24高架下駐車場				7	6	8	7	7	10			18	14	14	14	14	13	10	
奈良市役所駐車場	10	19	17	17	16	16	17	19	24	7	4	18	21	21	27	26	26	26	
ミ・ナーラ第2駐車場									3								2	5	
市営JR奈良駅駐車場								3									2	5	
天理駐車場	8									7	7								
奈良阪駐車場	8	7	7							4	7	4							
中町駐車場	8	7								23	7	4							

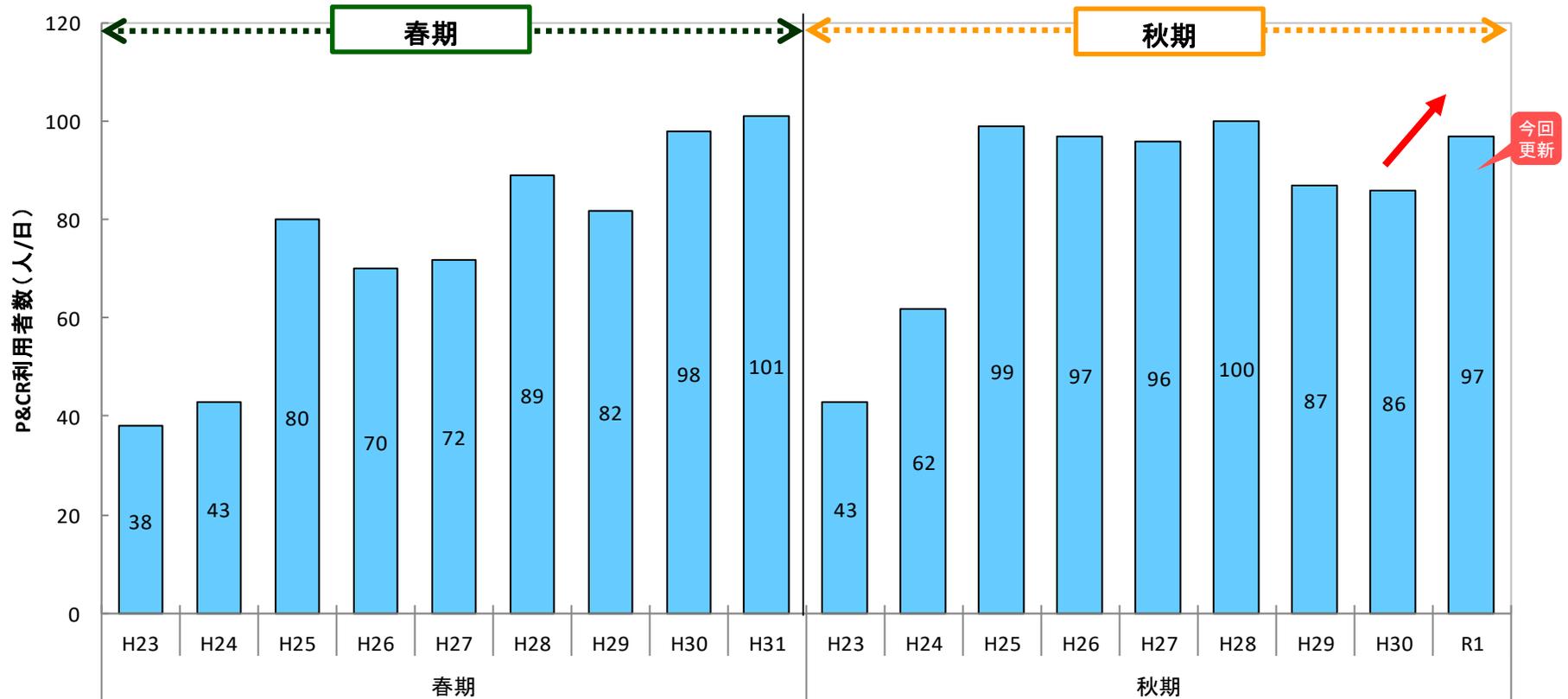
今回更新

①渋滞の緩和 ー施策2:パーク&ライドの実施ー

(3) モニタリング指標の状況

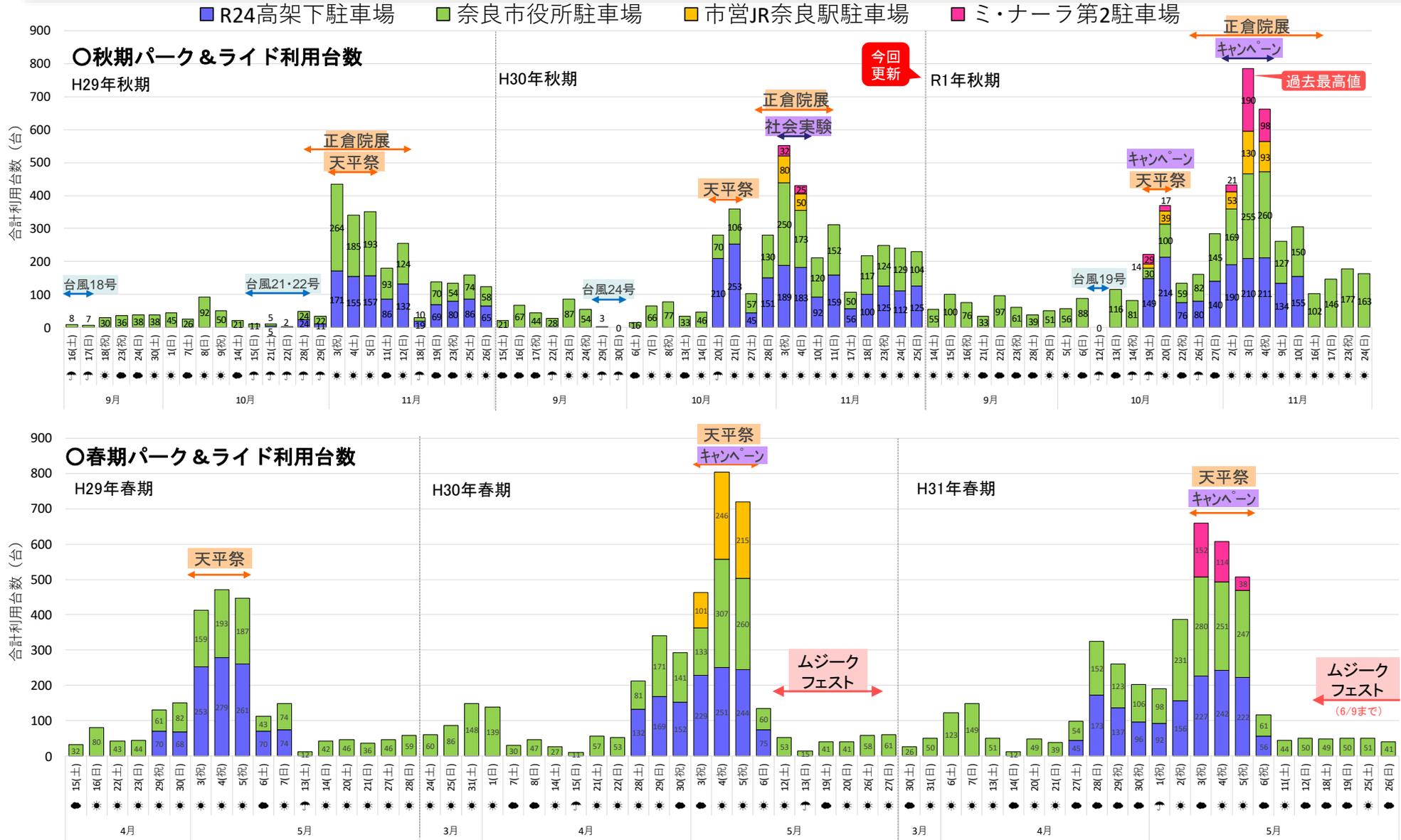
○令和元年秋期のパーク&サイクルライド日平均利用者数は、平成30年秋期と比べて増加。

指標②:P&CR利用者数



P&R駐車場の利用状況

○令和元年秋期のパーク&ライド駐車場の日最大利用台数は、平成30年秋期と比べて増加。

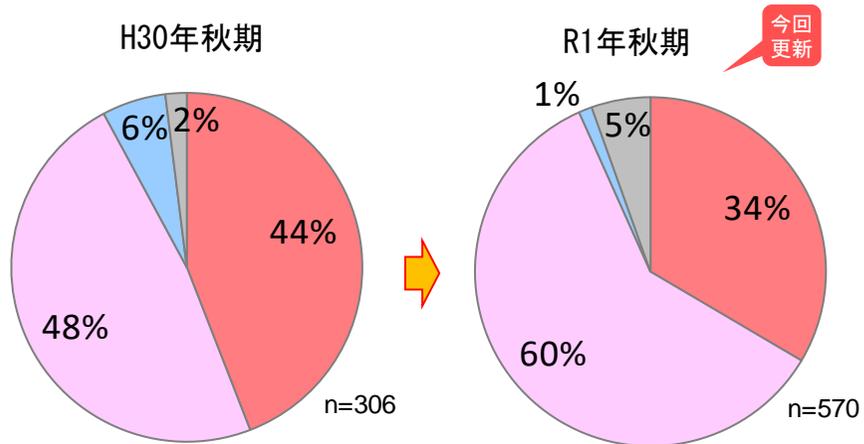


①渋滞の緩和 — 施策2:パーク&ライドの実施 —

P&R駐車場の取り組み結果 (1)

○P&R駐車場決定時期は、「道中で看板・横断幕、道路情報板を見たとき」が増加。
 ○P&R駐車場の今後の利用意向では、「また利用する」と回答した人の割合が平成30年秋期と比べて増加。

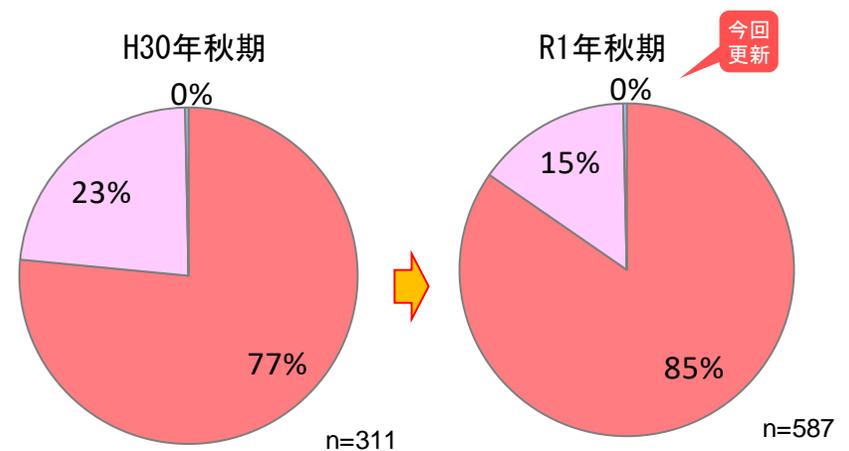
決定時期



■ 出発前(HP・チラシをみたとき)
 ■ 道中で看板を見たとき
 ■ 予定していた駐車場が満車と知ったとき
 ■ その他

図. P&R駐車場決定時期

今後の利用意向



■ また利用すると思う
 ■ 条件によっては利用すると思う
 ■ 利用しないと思う

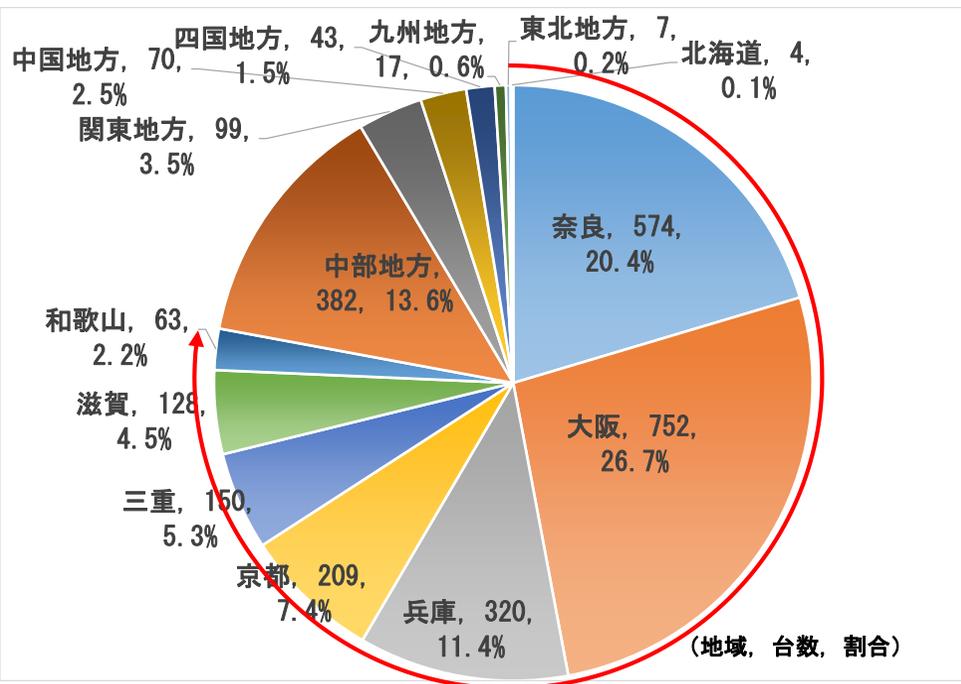
図. P&R駐車場の今後の利用意向

①渋滞の緩和 — 施策2:パーク&ライドの実施 —

P&R駐車場の取り組み結果 (2)

- P&R駐車場の利用者は奈良を除く近畿地方で半数以上を占める (57.5%)。
- 近畿地方以外で利用が多いのは中部地方である (13.6%)。
- 全体の傾向として4~5時間の駐車 (全体の平均=4:26)。
- 奈良からの利用者の駐車時間が最も短く、他の地域の方がやや駐車時間が長い傾向。

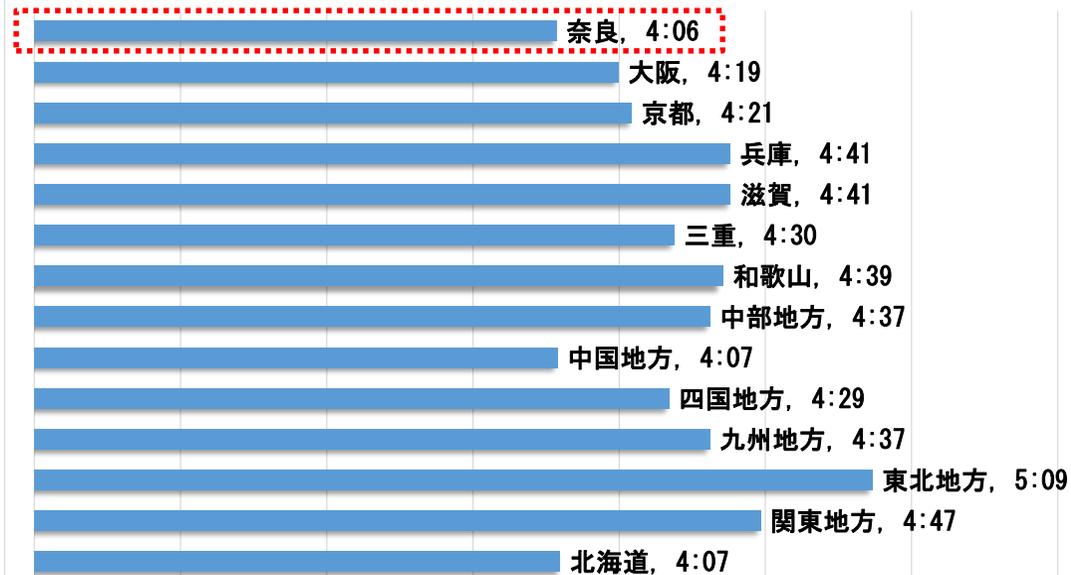
利用者の属性



※自動車登録番号標より

図. 利用者の属性

地域別駐車時間



※市実施の調査より

図. 地域別駐車時間



①渋滞の緩和 — 施策3: 駐車場利用の平準化 —

(1) 取り組み概要〔1/2〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○分かりやすい駐車場案内の整備

⇒ 円滑な駐車場利用を促進させるために、駐車場案内板を整備するとともに、駐車場への案内・誘導を充実します。

(2) 施策の実施状況〔1/2〕

○ 駐車場案内板の整備

⇒ 従来の駐車場案内板は、
駐車場案内情報が細かく煩雑で
直感的に認知できない



⇒ 空き駐車場の明確化を図るとともに、
駐車場までのルートについて
交通処理上有効なルートへの案内を
シンプルで分かりやすく改良

・ 平成29年度末に全7基整備完了

⇒ 10/19~20・11/2~4にキャンペーンを実施

・ 7箇所の駐車場案内板を活用し、
奈良公園周辺の混雑状況やP&Rの
利用促進をリアルタイムに情報提供



整備位置図 国土地理院の5万分の1の地形図を転載(奈良県道路網図(平28近複、第23号))

更新後の
駐車場案内板



駐車場案内板

7箇所の駐車場案内板を活用し、奈良公園
周辺の混雑状況やP&Rの利用促進を情報提供。



①渋滞の緩和 — 施策3: 駐車場利用の平準化 —

(1) 取り組み概要〔2/2〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○JR奈良駅周辺駐車場の利用促進

⇒ JR奈良駅周辺駐車場の料金見直しなどにより、奈良中心市街地における駐車場利用の平準化を促進し、渋滞の緩和を図ります。

(2) 施策の実施状況〔2/2〕

○駐車場利用の平準化

⇒平成27年度より、春期・秋期の観光ピーク期に、登大路（北）駐車場等の入庫待ち車両による周辺道路の渋滞解消と、JR奈良駅周辺駐車場の利用促進を目的とした車両誘導を実施

⇒車両誘導実施時には、市営JR奈良駅駐車場までの自動車でのアクセス方法と、周辺観光情報を記載した駐車場マップを配布し、駐車場利用の平準化を促進

⇒市営JR奈良駅駐車場の駐車場料金を見直し（H31.4～）
（最大1500円/日→最大700円/日）



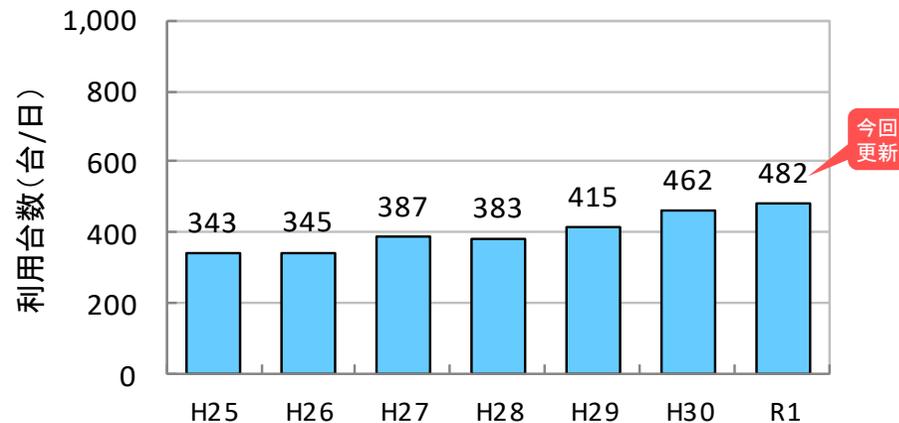
駐車場案内板を使った
情報提供

①渋滞の緩和 ー施策3: 駐車場利用の平準化ー

(3) モニタリング指標の状況

○奈良市営JR奈良駅駐車場における正倉院展期間の土日祝の1日あたり利用台数は、平成30年と比べて増加。

指標① : 奈良市営JR奈良駅駐車場の利用台数



※各年の数値は秋期(正倉院展期間)の土日祝)の日平均台数



①渋滞の緩和 — 施策4:観光バスの需要調整 —

(1) 取り組み概要（奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋）

○観光ピーク期に観光バスが来訪する時間帯を分散し、駐車場への入庫待ちによる渋滞を解消するため、ウェブ上での予約を基本とする観光バス駐車場予約システムを継続的に実施します。

(2) 施策の実施状況

○団体バス駐車場予約システム

⇒観光バスの駐車場待ちによる渋滞緩和を目的に平成23年9月から導入

⇒平成30年8月16日より大仏殿前駐車場は完全予約制

⇒平成31年4月13日より奈良公園バスターミナルの運営開始
（予約システム導入）

⇒令和元年10月2日より当日予約が可能に



BT整備前
県庁付近の交通状況
(平成30年5月)



BT整備後
県庁付近の交通状況
(令和元年5月)



奈良公園バスターミナル
(令和元年5月)



観光バス予約システムの画面

①渋滞の緩和 — 施策4:観光バスの需要調整 —

(3) モニタリング指標の状況

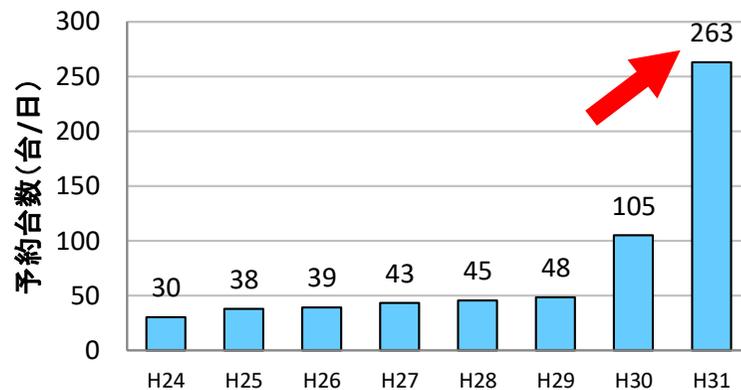
- 予約台数は平成24年度以降増加傾向。
- 平成30年8月16日以降、完全予約制導入により予約率は向上。

※H31. 4. 13より大仏殿前駐車場から奈良公園バスターミナルに観光バスの乗降機能が移ったため4/12までを集計。

指標①: 予約台数

※H31は4/12までを集計

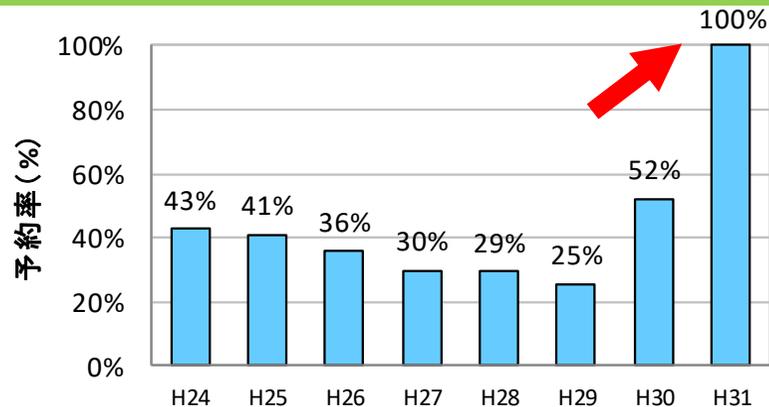
(大仏殿前駐車場の駐車場予約台数の日平均値)



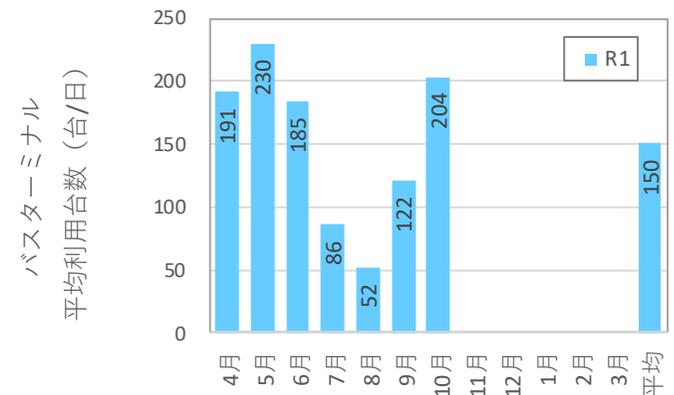
指標②: 予約率

※H31は4/12までを集計

(大仏殿前駐車場の予約台数の全駐車台数に対する割合)



参考: 奈良公園バスターミナルの月別日平均利用台数



※4月13日～10月末日までの月別日平均利用台数
 ※10月の台数は速報値のため、今後変更となる可能性があります。



①渋滞の緩和 — 施策5: 鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上 —

(1) 取り組み概要〔1/2〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上

⇒ 鉄道駅からバスへの快適でかつ円滑な乗り継ぎが可能となるように、鉄道駅にてバス停の位置やバスルートなどの運行情報に関する案内を行います。

(2) 施策の実施状況〔1/2〕

○鉄道乗継利便性向上を目的とした情報案内

⇒ 近鉄奈良駅でぐるっとバスの乗場案内を実施

⇒ 各種乗換案内サービスにてぐるっとバス検索も可能に

- ・ 「Google Maps」、「NAVITIME」、「駅すぱあと for WEB」、「Yahoo! 乗換案内」で、ぐるっとバスのルート検索開始
- ・ バスカーションシステムを導入し、リアルタイムのバス位置情報の提供開始



【B5・R7】近鉄奈良駅バス停



バスカーションシステム(サイネージ版)



ぐるっとバス利用促進ポスター
(近鉄奈良駅設置)

①渋滞の緩和 — 施策5: 鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上 —

(1) 取り組み概要〔2/2〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○木筒型一日乗車券の企画・販売

⇒ 奈良中心市街地内における公共交通による周遊観光を促進するために、継続的に木筒型一日乗車券を製作・販売します。

(2) 施策の実施状況〔2/2〕

○木筒型一日乗車券の製作・販売



木筒型一日乗車券

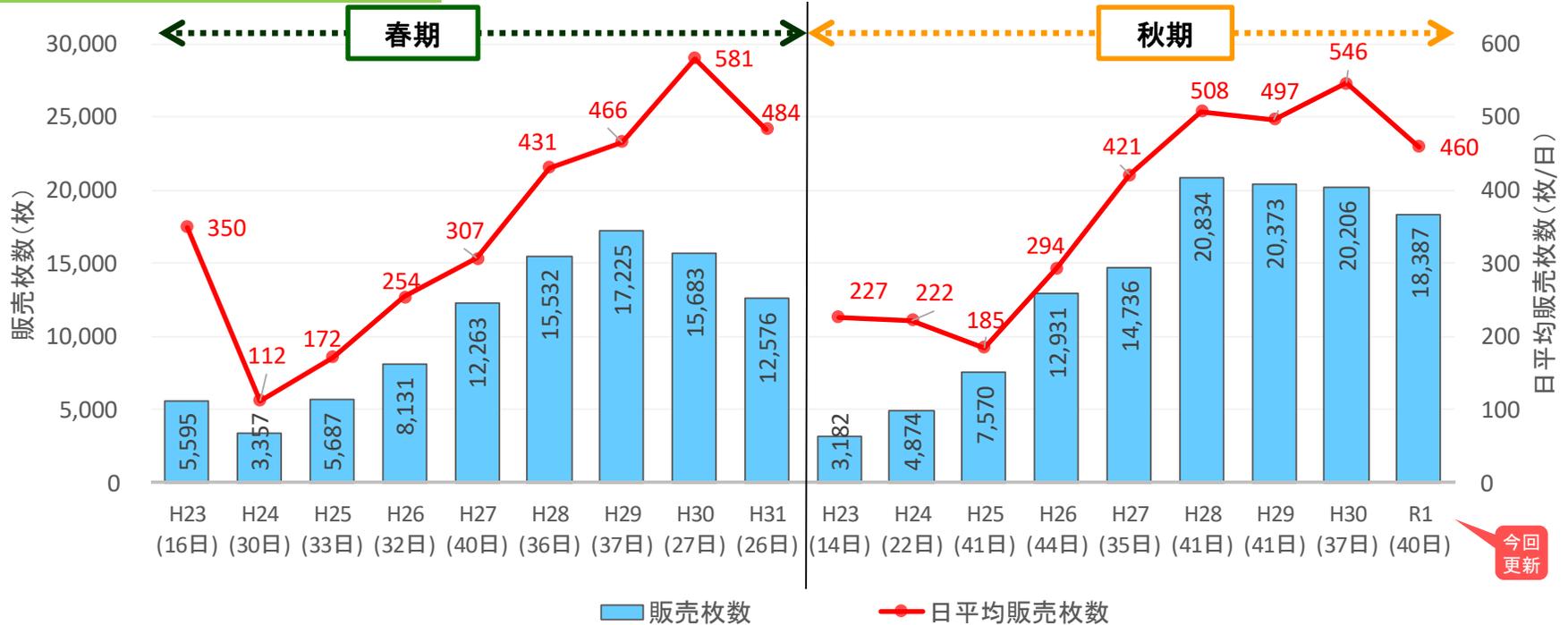
木筒型一日乗車券の事業年表

時期	発行枚数	販売日数	備考	
平成23年	春期	5,000枚	16日	木筒型一日フリー乗車券として大人400円、子供200円で販売
	秋期	8,000枚	14日	価格改定(大人500円、子供250円)
平成24年	春期	6,500枚	30日	—
	秋期	4,500枚	22日	—
平成25年	春期	6,000枚	33日	—
	秋期	8,000枚	41日	—
平成26年	春期	7,500枚	32日	「木筒型一日乗車券」に名称変更
	秋期	8,500枚	44日	リーフレットの日本語・英語併記
平成27年	春期	8,000枚	40日	—
	秋期	13,000枚	35日	デザイン変更、P&R国道24号高架下駐車場での販売開始
平成28年	春期	11,500枚	36日	—
	秋期	17,500枚	41日	—
平成29年	春期	14,000枚	37日	—
	秋期	23,000枚	41日	—
平成30年	春期	12,599枚	27日	[社会実験]5/3~5 P&R利用者に乗車人数分進呈
	秋期	25,000枚	37日	デザイン変更、[社会実験]11/3~4 P&R利用者に乗車人数分進呈
平成31年	春期	15,500枚	26日	「お得なぐるっとキャンペーン」5/3~5 P&R利用者に車一台につき最大3枚進呈
令和元年	秋期	21,000枚	40日	「お得なぐるっとキャンペーン」10/19~20、11/2~4 P&R利用者に車一台につき最大3枚進呈

(3) モニタリング指標の状況

○令和元年秋期の木簡型一日乗車券の販売枚数は、平成30年秋期と比べて減少。

指標①: 木簡型一日乗車券の販売枚数



※各年度の数値は、木簡型一日乗車券販売期間内の大人(木簡と紙式)と小児の販売枚数の合計値

図. 木簡型一日乗車券の販売枚数

表. 木簡型一日乗車券の販売枚数

	春期										秋期						R1			
	H27		H28		H29		H30		H31		H27		H28		H29		H30		R1	
	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児
販売枚数 (木簡)	7,490	423	10,978	497	13,475	500	12,095	499	10,611	730	12,471	423	16,995	566	19,874	499	19,268	938	17,419	968
販売枚数 (紙式)	4,350	0	4,057	0	3,205	0	2,661	428	0	0	1,842	0	3,273	0	0	0	0	0	0	0
発行枚数	7,500	500	11,000	500	13,500	500	12,099	500	14,500	1,000	12,500	500	17,000	500	22,500	500	23,500	1,500	20,000	1,000
販売率	158%	85%	137%	99%	124%	100%	122%	185%	73%	73%	115%	85%	119%	113%	88%	99%	82%	63%	87%	97%

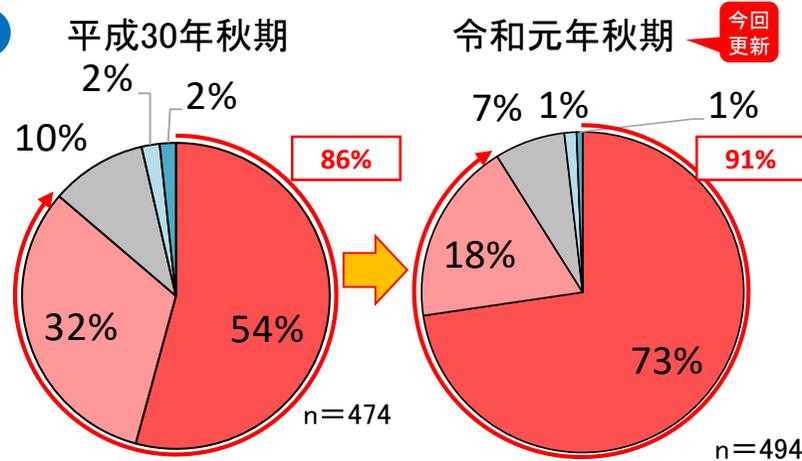
※販売率 = 販売枚数 (木簡+紙式) / 発行枚数

①渋滞の緩和 — 施策5: 鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上 —

木簡型一日乗車券の取り組み結果

- 令和元年秋期の満足度は、平成30年秋期と比べ「満足・やや満足」の占める割合が増加。
- 過去に木簡型一日乗車券を購入したことがある人の割合は平成30年秋期と同程度。
- 令和元年秋期の木簡型一日乗車券認知度は平成30年秋期と比べて減少。

満足度



※赤枠: 満足+やや満足の割合

図. 木簡型一日乗車券の満足度

購入履歴

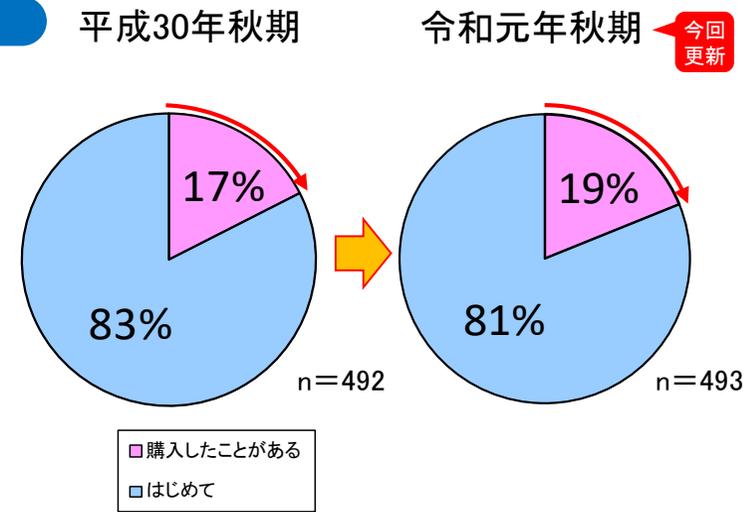


図. 木簡型一日乗車券の購入経歴

認知度

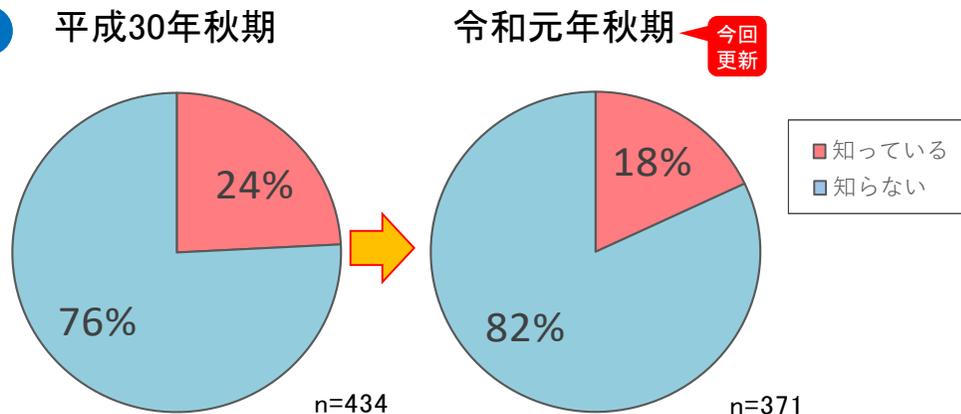


図. 木簡型一日乗車券の認知度

①渋滞の緩和 ー施策5: 鉄道駅などでの乗り継ぎ利便性の向上ー

木簡型一日乗車券の取り組み結果

- 木簡型一日乗車券の特典割引を約5割が活用しており、平成30年秋期と比べて増加。
- 令和元年秋期に割引特典で来訪した施設は、興福寺、唐招提寺が約3割と割合が高い。

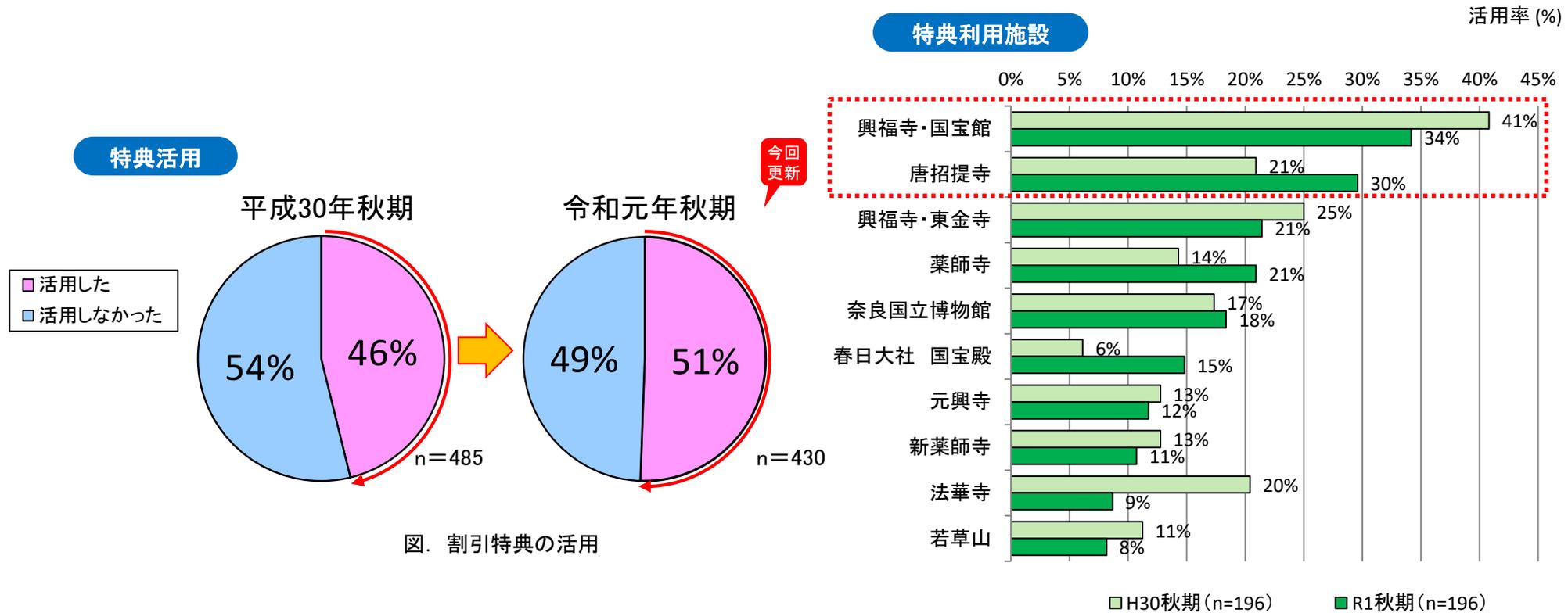


図. 割引特典で来訪した施設

今回更新



(1) 取り組み概要〔1/2〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○奈良公園への来訪公共交通手段と公園内を走行するぐるっとバスとの交通結節機能を向上させるために、乗り継ぎ利便性向上に向けたターミナルの検討を行います。

(2) 施策の実施状況

○奈良公園バスターミナルの整備

⇒平成23年に登大路（南）駐車場の利用を廃止し、交通渋滞の緩和や公園の魅力向上等を目的として整備

⇒平成31年4月13日にオープン



奈良公園バスターミナル全景

○期待される効果

・奈良公園中心部への観光バスの乗入を抑制することで、
観光バスによる渋滞が緩和され、公園内の周遊環境が向上される

(1) 取り組み概要〔2/2〕 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

- 県営プール跡地等に、コンベンション施設、屋外多目的広場、飲食・物販施設、駐車場及びバスターミナルからなる交流拠点施設の整備を進めます。
- 駐車場及びバスターミナルは、P&Rによる奈良観光の交通拠点として、また空港リムジンバス、市内周遊バス（ぐるっとバス）の乗換拠点として活用することを想定しています。

(2) 施策の実施状況

- 奈良県コンベンションセンター(大宮通り新ホテル・交流拠点の整備)
- ⇒ 県営プール跡地等において、国際ブランドホテルの建設、NHK奈良放送局の移転と併せ、2020年春の開業を目指して、コンベンション施設、屋外・屋内多目的広場、飲食・物販施設、駐車場及びバスターミナルからなる交流拠点施設を整備
- ⇒ 2019年度（令和元年度）にコンベンション施設の建設工事竣工予定

【交流拠点施設のイメージパース】



鳥瞰



東側外観



工事状況(2019年12月上旬)





(1) 取り組み概要 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

○奈良公園や平城宮跡、ならまちなどの観光地、鉄道駅を結ぶ周遊バス(ぐるっとバス)について、運行形態などを見直しながら、継続的に運行します。

(2) 施策の実施状況

○ぐるっとバスの運行

⇒大宮通りルートと奈良公園ルート、若草山麓ルートの3ルートを実行
大宮通りルートは平日も運行し、観光ピーク期の休日には一部折り返し運行を実施
⇒ラッピングバスの運行、標柱の設置や4ヶ国語案内、ルート見直し等を実施



標柱



ラッピングバス



令和元年秋期ぐるっとバスの路線図

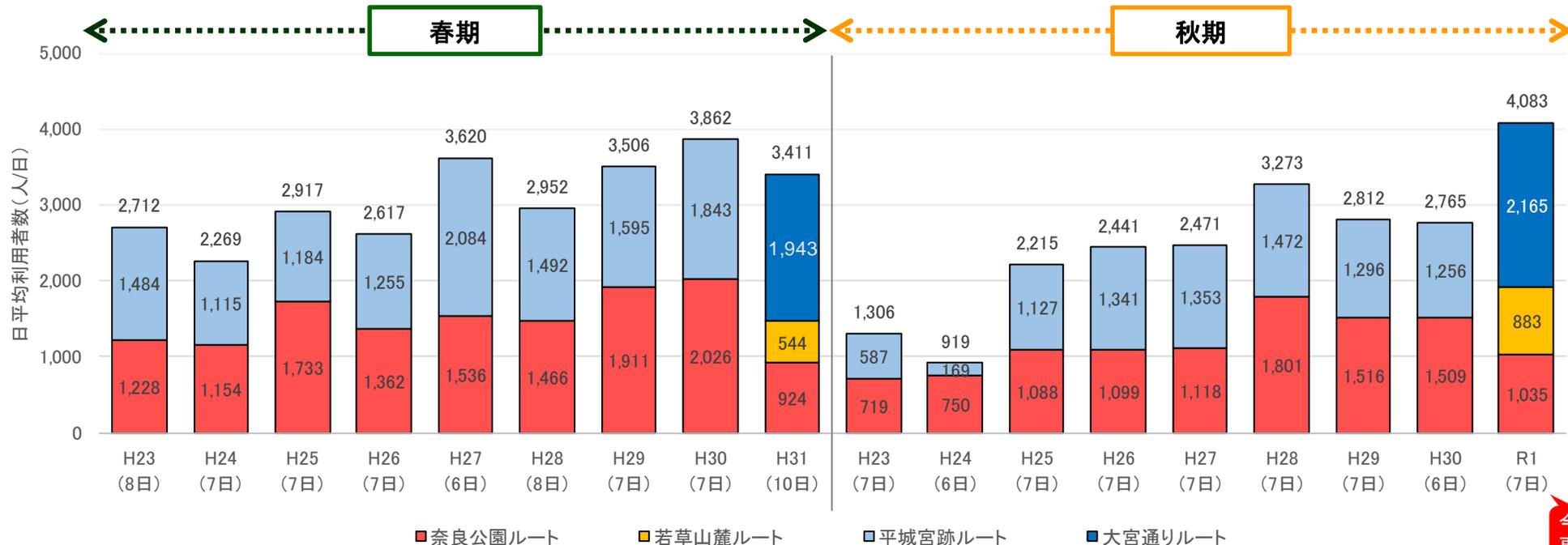
路線		平城宮跡ルート	奈良公園ルート	
平成23年	春期	↓	↓	
	秋期			奈良公園ルート(100円)と平城宮跡ルート(200円)を運行
平成24年	春期	↓	↓	
	秋期			①運賃を100円に改定 ②奈良公園ルート: JR奈良駅・近鉄奈良駅へ延伸
平成25年	春期	↓	↓	
	秋期			分離 → ならまちルート
平成26年	春期	↓	↓	
	秋期			統合 ←
平成27年	春期	↓	↓	
	秋期			①近鉄奈良駅に奈良公園ルート専用のバス停を設置
平成28年	春期	↓	↓	
	秋期			ラッピングバス運行開始
平成29年	春期	↓	↓	
	秋期			①バス停・車内案内の多言語化 ②バス停標柱の変更
平成30年	春期	↓	↓	
	秋期			大宮通り直行バス 11/3~4 試験運行
ルート見直し		再編 ↓	分離 ↓	
平成31年	春期	大宮通りルート 通年運行開始	奈良公園ルート	若草山麓ルート
令和元年	秋期	↓	↓	↓
		平城宮跡から春日大社まで乗り換えなしで行けるルートに再編		

(3) モニタリング指標の状況

- 平成31年度よりルートを変更。
- 令和元年秋期のぐるっとバス日平均利用者数は平成30年秋期と比べて増加。

指標①: ぐるっとバス利用者数

※春期: GW期間の土日祝日平均値、秋期: 正倉院展期間の土日祝日平均値
 ※H29年正倉院展期間(10/28~11/13)のうち10/28~29は台風接近により悪天候



今回更新

ぐるっとバスの利用状況

○奈良公園ルート・若草山麓ルートは8～10月、大宮通りルートは5月以降の日平均利用者数が昨年と比べて増加。
 ○4～11月の日平均利用者数は、奈良公園ルート・若草山麓ルートが昨年と同等、大宮通りルートは昨年と比べて増加。

※H29は台風の影響で利用者数が少ない

奈良公園ルート・若草山麓ルート

・奈良公園ルート H28 H29 H30 H31
 ・若草山麓ルート H31

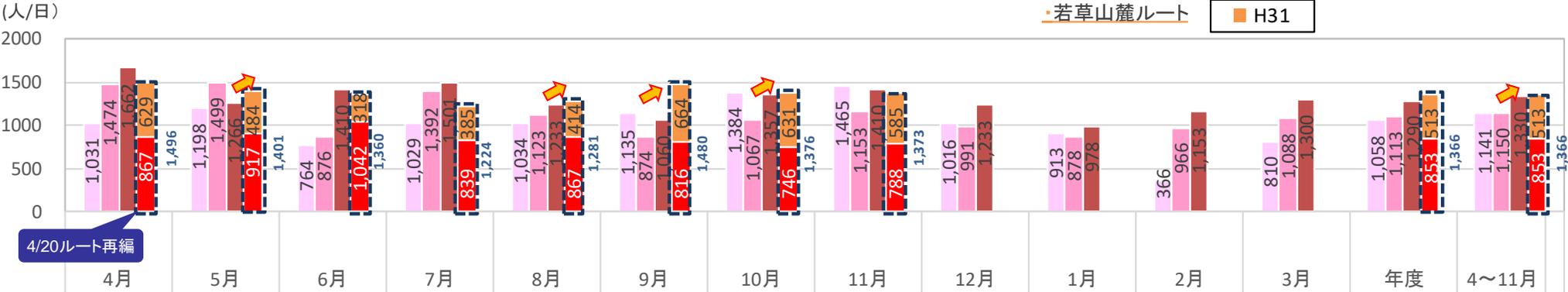


図. ぐるっとバスの平均利用者数（奈良公園ルート・若草山麓ルート）

平城宮跡ルート・大宮通りルート

・平城宮跡ルート H28 H29 H30
 ・大宮通りルート H31

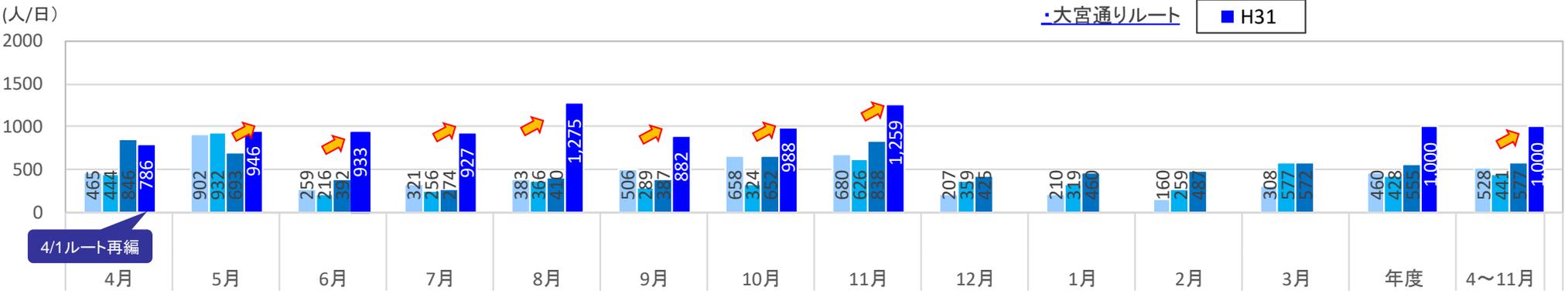
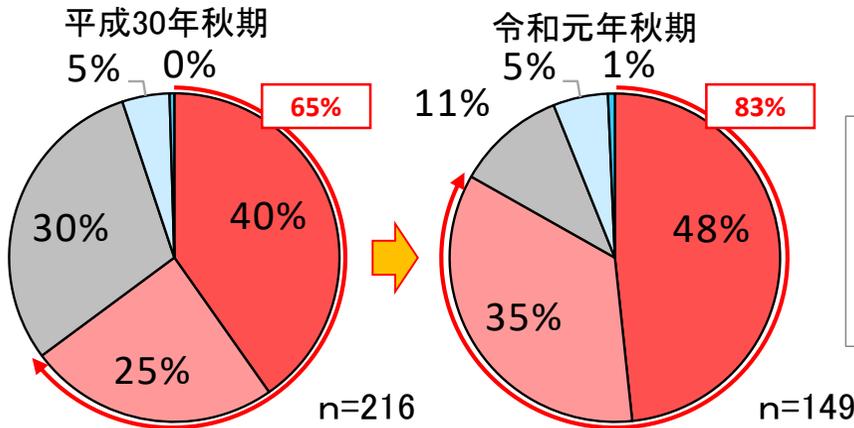


図. ぐるっとバスの平均利用者数（平城宮跡ルート・大宮通りルート）

取り組み結果

- 令和元年秋期で満足と回答した人の割合が、平成30年秋期と比べて増加。
- 満足・やや満足と回答した方の中でも特に「駅から利用できたから」「バス停から目的地が近い」の割合が平成30年秋期と比べて増加。
- ぐるっとバスのルート再編により、県庁前バス停や春日大社バス停の遅れが改善傾向。

満足度 ①奈良公園ルート・若草山麓ルート



②平城宮跡ルート・大宮通りルート

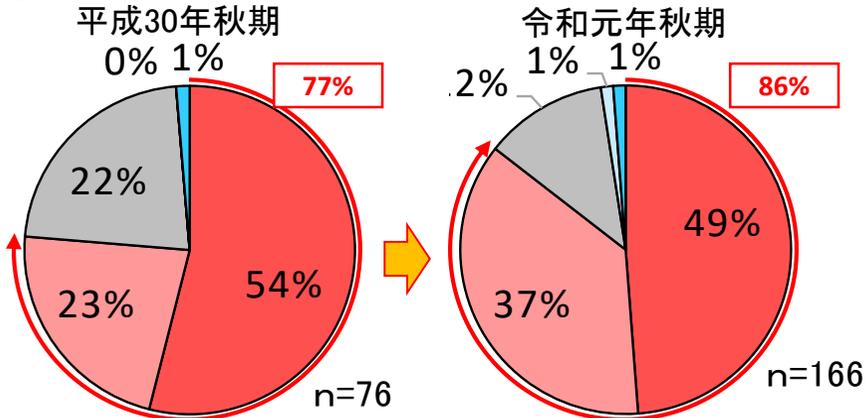
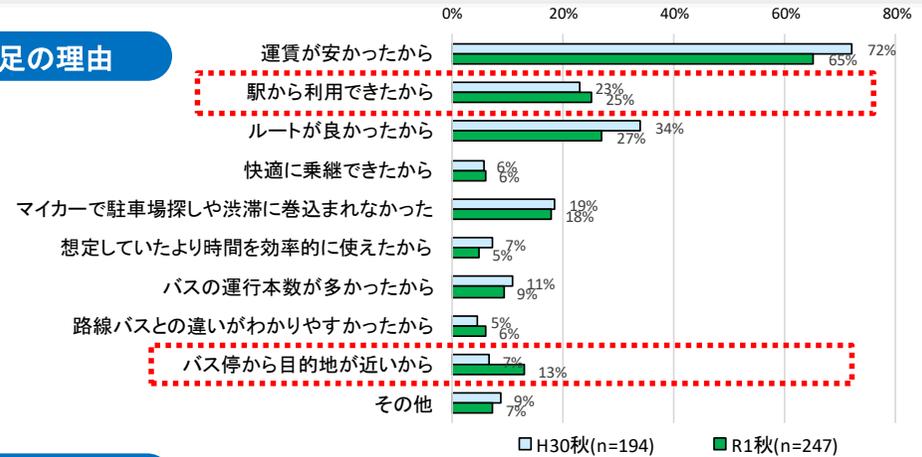


図. ぐるっとバスの満足度

※赤枠: 満足+やや満足の割合

満足の理由



運行間隔

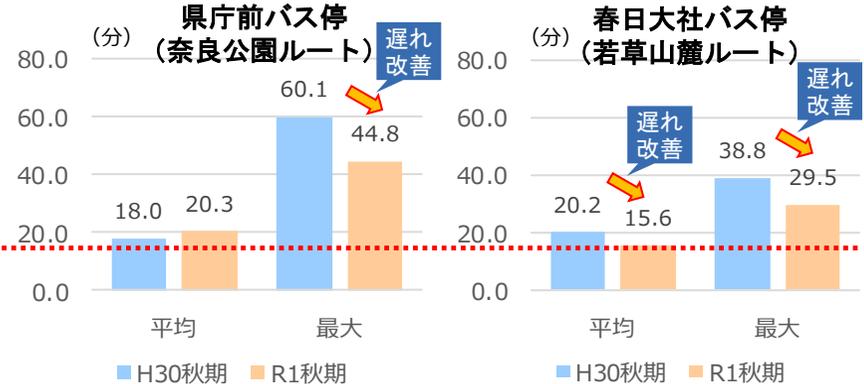


図. 満足・やや満足の回答の要因

※数値は各年11月3日の平均運行間隔と最大運行間隔 (分)

図. ぐるっとバスの運行間隔 (各年11月3日)

出典: ぐるっとバス利用者ヒアリング調査
運行間隔はぐるっとバスプローブデータ



(1) 取り組み概要（奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋）

- ならまちエリアでは周遊型の観光客が多く、エリア内の広範囲に観光拠点が点在することから観光客のマイカー等による来訪が想定されます。このようなマイカーでの来訪者の集中による周辺道路の渋滞を避けるため、ならまち南エリアに公共交通機関での来訪を基本としたエントランスとなる拠点施設を整備することにより、観光客の動線を北と南の2方面に複線化します。
- 従来からの北方面の近鉄奈良駅からの動線に、南方面のJR京終駅から誘導する案内板を整備し、新たな動線を加えることにより、ならまちへの来訪を車に頼らずに鉄道や路線バスなどの公共交通機関でできるようにします。

(2) 施策の実施状況

- ならまちエリアの周遊観光促進
⇒奈良市京終駅観光案内所を南の玄関口とし、ならまちエリアへの動線をつくり観光振興を図るため、案内標識・観光案内板・解説板の設置を行う。

【京終エリア】

■京終駅復元工事竣工

平成31年3月15日 竣工

■京終エリアの案内標識・観光案内板・解説板の拡充

2019年度
(令和元年度) 案内標識の設置

2020年度
(令和2年度) 観光案内板・解説板の設置



奈良市京終駅観光案内所(竣工後)

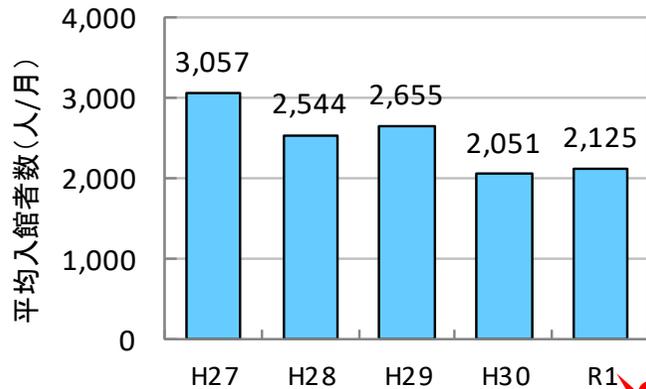


案内標識(イメージ)

(3) モニタリング指標の状況

- 令和元年の奈良町南観光案内所月平均入館者数は、平成30年と同等。
- JR京終駅乗降者数は、平成27年より横ばい。

指標①: 奈良町南観光案内所入館者数

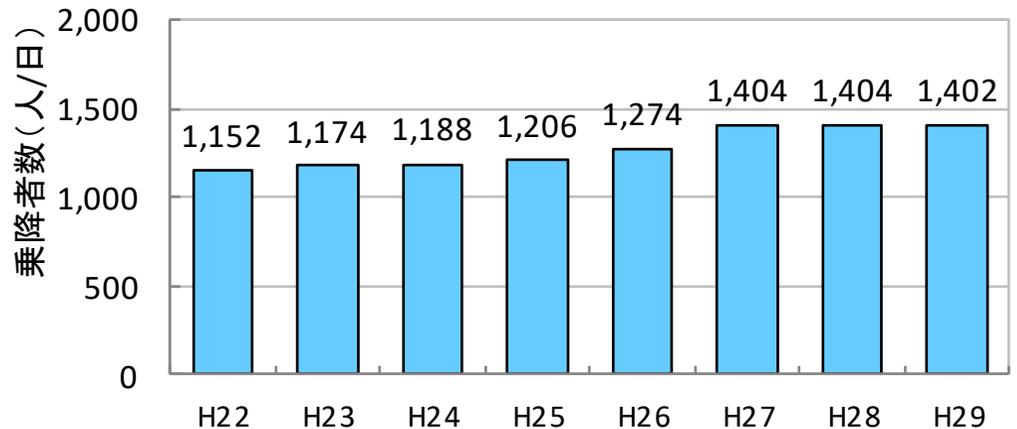


※年度(4月～翌3月)で集計

※ならまち振興館はH26年8月に閉鎖、平成27年11月19日に奈良町南観光案内所としてオープン

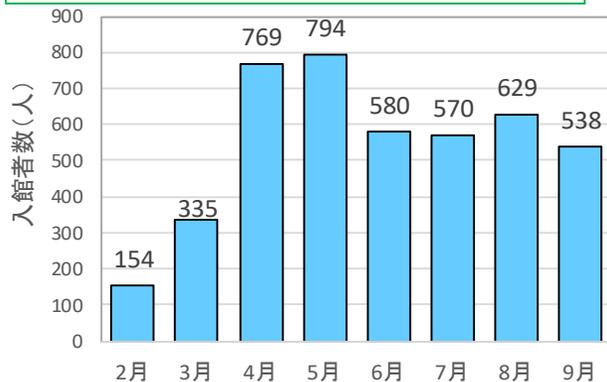
今回更新

指標②: JR京終駅乗降者数



※各年(1月～12月)で集計

参考: 京終駅観光案内所入館者数



※京終駅観光案内所は平成31年2月23日に開所



(1) 取り組み概要 (奈良中心市街地公共交通総合連携計画より抜粋)

- 毎年、奈良市内の事業所に対して、マイカー通勤の実情の把握と「エコ通勤」の啓発のためにアンケートを実施します。
- 事業所に対して、「エコ通勤」に関するチラシを配布し、通勤における公共交通への意識転換を図ります。

(2) 施策の実施状況

- 平成29年1月より毎年、奈良市内の事業所に対して、マイカー通勤の実情把握と「エコ通勤」の啓発のためのアンケートを実施。

今回更新

The survey form consists of several sections:

- Header:** 奈良中心市街地公共交通総合連携計画 (Nara Center City Comprehensive Public Transport Cooperation Plan). Title: 奈良市内事業所管理者の皆さまへ (Dear Business Managers in Nara City). Subtitle: マイカー通勤の実情について、アンケートにご協力下さい (Regarding car commuting habits, please cooperate with the survey).
- Section 1:** 通勤手段について (Regarding commuting methods). Questions include:
 - 1. 通勤手段はどれですか? (What is your commuting method?) with options: 自動車 (Car), タクシー (Taxi), バイク (Bike), 徒歩 (Walking), その他 (Others).
 - 2. 通勤手段を選んだ理由は何ですか? (What is the reason for choosing your commuting method?) with options: 時間短縮 (Time saving), コスト削減 (Cost reduction), 環境に優しい (Environmentally friendly), 交通渋滞 (Traffic congestion), その他 (Others).
- Section 2:** エコ通勤について (Regarding eco-commuting). Questions include:
 - 3. エコ通勤について、ご自身の取り組みはありますか? (Regarding eco-commuting, do you have any initiatives?) with options: はい (Yes), いいえ (No).
 - 4. エコ通勤の取り組みはどのようなものですか? (What kind of eco-commuting initiatives do you have?) with options: 公共交通機関の利用 (Use of public transport), 自転車通勤 (Bike commuting), 徒歩通勤 (Walking), その他 (Others).
- Section 3:** その他 (Others). A free-text area for additional comments.
- Footer:** Thank you message and contact information for the Nara City Center City Comprehensive Public Transport Cooperation Plan.

アンケート調査票(令和元年12月)

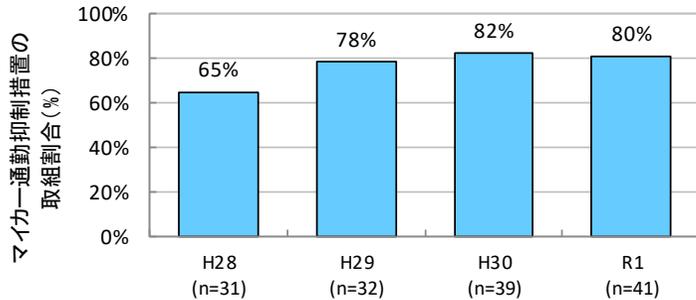
※各割合の算出はマイカー通勤者0人の事業所など、モビリティマネジメント実施対象外の事業所を除く

(3) モニタリング指標の状況

- 令和元年のマイカー通勤抑制措置の取り組み割合は、平成30年と同等。
- 令和元年の公共交通通勤への呼びかけ割合は、平成30年と比べ増加。
- 令和元年の交通マネジメントの実施割合は、平成30年と比べ増加。

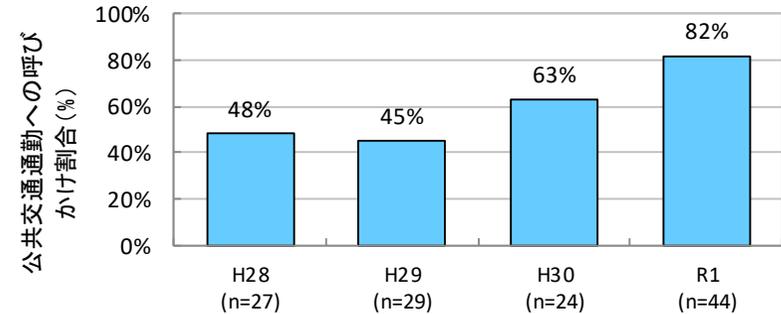
指標①:マイカー通勤抑制措置の取り組み割合

「マイカー通勤者を抑制する措置を何かしていますか？」の設問に対する「実施している」企業の割合



指標②:公共交通通勤への呼びかけ割合

「公共交通通勤への転換を呼びかけていますか？」の設問に対する「呼びかけている」企業の割合



指標③:交通マネジメントの実施割合

「職場交通マネジメントを実施していますか？」の設問に対する「実施している」企業の割合

